

平成28年度の管理運営状況（東京体育館）

指定管理者：公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

大項目	中項目	確認項目	特にアピールしたい点(具体的に)、改善点等																																				
管理状況	適切な管理の履行	(7) 施設の提供について	<p>定例大会に加え、「リオデジャネイロオリンピック バレーボール世界最終予選 兼 アジア大陸選手権大会」など、国際大会や全国大会等の大規模大会を積極的に誘致した。また、選手が最高のパフォーマンスを発揮するとともに、観覧者が安全・安心かつ快適に観覧できるよう主催者と緊密な連携体制を構築し、円滑・効果的な大会運営に全面的に協力した。</p> <p>その他、空き枠を利用し、公共性を担保しつつ、サーカスやコンサートなどのイベントも誘致し、収益の確保を図った。こうした収益を備品の購入や設備更新等に充てるなど、サービスの拡充を図り、都民に還元していく。</p> <p>また、東京2020大会卓球会場として、東京都や組織委員会等からの視察・調査依頼、工事協力等について全面的に協力した。</p>																																				
管理状況	安全性の確保	(3) 防災への配慮・緊急対策	<p>10月と2月に自衛消防訓練を実施した。中でも2月の訓練は、渋谷消防署との連携の下、消防・警察・病院等約300人が参加し、東京2020大会開催に向け、爆発テロを想定した大規模な訓練を行った。また、8月には渋谷駅周辺帰宅困難者対策協議会による「受入施設オペレーション訓練」に参画し、帰宅困難者受入施設として更なる実践対応能力の向上を図った。</p>																																				
事業効果	利用の状況	(1) 利用状況	<p>平成24年度の長期休館による利用者離れのため、平成25年度の個人利用者数は大幅に落ち込んだが、PR等の努力を重ねた結果、現在は休館前の水準まで回復しつつあり、平成28年度は前年度より11,363人増の679,297人（無料利用者51,106人を含む）となった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18年度</th> <th>H19年度</th> <th>H20年度</th> <th>H21年度</th> <th>H22年度</th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> <th>H25年度</th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人利用者数(人)</td> <td>525,764</td> <td>598,746</td> <td>653,606</td> <td>683,147</td> <td>679,689</td> <td>683,112</td> <td>88,470</td> <td>493,712</td> <td>623,300</td> <td>667,934</td> <td>679,297</td> </tr> </tbody> </table>		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	個人利用者数(人)	525,764	598,746	653,606	683,147	679,689	683,112	88,470	493,712	623,300	667,934	679,297												
	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度																												
個人利用者数(人)	525,764	598,746	653,606	683,147	679,689	683,112	88,470	493,712	623,300	667,934	679,297																												
事業効果	利用の状況	(1) 利用状況	<p>18年度以降、団体利用施設はほぼ100%に近い稼働率となっている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18年度</th> <th>H19年度</th> <th>H20年度</th> <th>H21年度</th> <th>H22年度</th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> <th>H25年度</th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メインアリーナ稼働率(%)</td> <td>99.5</td> <td>99.6</td> <td>98.9</td> <td>99.7</td> <td>99.2</td> <td>99.6</td> <td>99.2</td> <td>99.4</td> <td>99.7</td> <td>99.7</td> <td>99.7</td> </tr> <tr> <td>サブアリーナ稼働率(%)</td> <td>98.1</td> <td>98.1</td> <td>99.3</td> <td>99.2</td> <td>99.6</td> <td>99.4</td> <td>100.0</td> <td>99.5</td> <td>99.7</td> <td>99.9</td> <td>99.1</td> </tr> </tbody> </table>		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	メインアリーナ稼働率(%)	99.5	99.6	98.9	99.7	99.2	99.6	99.2	99.4	99.7	99.7	99.7	サブアリーナ稼働率(%)	98.1	98.1	99.3	99.2	99.6	99.4	100.0	99.5	99.7	99.9	99.1
	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度																												
メインアリーナ稼働率(%)	99.5	99.6	98.9	99.7	99.2	99.6	99.2	99.4	99.7	99.7	99.7																												
サブアリーナ稼働率(%)	98.1	98.1	99.3	99.2	99.6	99.4	100.0	99.5	99.7	99.9	99.1																												
事業効果	事業の取組み	(1) スポーツ振興事業の実施状況	<p>子供から高齢者まで、障害の有無や体力の程度に関わらず、誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことができる取組として全27事業を実施。より多くの人が参加しやすいよう、参加料の値下げや障害者に対する無料化などの工夫を行った。</p>																																				
事業効果	事業の取組み	(2) 自主事業の実施状況	<p>ニーズに即した多様なプログラムを実施した。申込者数、参加者数ともに多く、特にキッズ向けの事業が人気で想定を大きく上回る参加があった。</p>																																				
事業効果	事業の取組み	(3) サービス向上に向けた取組	<p>当施設は外国の方の利用も多く、英語による問合せも多いことから、職員への英語研修を実施し、多言語サービスの充実を図った。</p>																																				
事業効果	事業の取組み	(4) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	<p>駐輪場利用料金を改定し、更なる個人利用者へのサービス向上を図った。</p> <p>災害支援型やJOCオリンピック支援のための各種自動販売機を設置し、収益拡大、さらには、オリンピックムーブメントの醸成に寄与した。</p> <p>レストランでの人気は高く、早朝から夜遅くまで多くの方で賑わっているが、新たに照明やヒーターを配備するなど、快適な利用空間を創出し、更なるサービス向上に努めた。</p>																																				
事業効果	事業の取組み	(5) 利用者ニーズの把握 (6) 利用者の満足度	<p>利用者からの意見を共有し、適宜サービスの見直し等を行い顧客満足度の高いサービス維持に努めた。</p> <p>利用者満足度調査においては、95.0%と高い評価を得ることができた。個人利用者向け調査では、タブレット端末を活用して実施することで、より精度の高い調査結果を得ることができた。また、コンソーシアム各社で、調査分析結果を共有し、更なる業務改善に取り組んだ。</p> <p>団体利用者を対象とした利用者懇談会を開催し、施設利用者の幅広いニーズ・満足度の把握に努めた。</p>																																				